

## R6 公明党会派 視察研修（東京都&神奈川県） 日程表

日程	時間・場所				移動手段	料金(3名分)	
	発		着				
7月2日 (火)	7:00	遠藤→山本→阿部		7:40	麻生駅	タクシー	8,430
	8:00	麻生駅		8:50	新千歳空港	バス	2,500(往復)×
	9:50	新千歳空港		11:25	羽田空港	JAL504	75,000×3
	12:00	羽田空港第1ターミナル		13:10	調布駅	バス(東京空港交通)	1,600×3
	13:40	調布駅		13:45	調布市役所	徒歩	
	調布市視察 (14:00~15:30)「議場コンサート」						
	15:45	調布市役所		15:50	調布駅	徒歩	
	15:35	調布駅		15:59	渋谷駅	京王線	273×3
	16:05	渋谷駅		16:36	桜木町駅	JR	483×3
	「横浜エアキャビン」見学						
	20:02	桜木町駅		20:45	町田駅	JR	483×3
	20:54	町田駅		21:10	本厚木駅	小田急線	261×3
21:10	本厚木駅 →北口へ		21:17	レンブラントホテル厚木	徒歩		
7月3日 (水)	「レンブラントホテル厚木」宿泊						
	9:00	レンブラントホテル厚木		9:07	本厚木駅	徒歩	
	9:11	本厚木駅		9:15	海老名駅	小田急線	670×3
	9:21	海老名駅		9:47	横浜駅	相鉄本線	
	9:52	横浜駅		9:55	桜木町駅	市営地下鉄 ブルーライン	
	9:55	桜木町駅 →新南口へ		10:03	横浜市役所	徒歩	
	横浜市視察 (10:30~12:00)「要援護者支援」						
	12:10	横浜市役所		12:18	桜木町駅	徒歩	
	11:41	桜木町駅		12:13	町田駅	JR	713×3
	12:21	町田駅		12:33	海老名駅	小田急線	
	13:30	海老名駅		14:00	愛川町役場	タクシー	5,400
	愛川町役場視察 (14:30~16:00)「補聴器助成」						
15:50	愛川町役場		16:20	海老名駅	タクシー	6,200	
16:26	海老名駅		16:31	本厚木駅	小田急線	136×3	
16:31	本厚木駅 →北口へ		16:38	レンブラントホテル厚木	徒歩		
7月4日 (木)	「レンブラントホテル厚木」宿泊						
	10:00	レンブラントホテル厚木		10:05	厚木市保健福祉センター	徒歩	
	厚木市視察 (10:30~12:00)「未病の改善」						
	12:00	厚木市保健福祉センター		12:10	本厚木駅	徒歩	
	12:11	本厚木駅		12:15	海老名駅	小田急線	857×3
	12:21	海老名駅		12:47	横浜駅	相鉄本線	
	12:58	横浜駅		13:25	羽田空港第1.2ターミナル駅	京急本線	
	15:30	羽田空港第1ターミナル		17:05	新千歳空港	JAL521	—
	17:20	新千歳空港		18:20	麻生駅	バス	—
18:20	麻生駅→阿部→山本		19:00	遠藤宅	タクシー	7,400	

## 公明党会派 行政視察報告

【視察日時】 令和6年7月2日（火）

【視察場所】 東京都調布市

【視察者】 阿部裕美子、遠藤典子、山本由美子

【視察内容】 議場コンサート

『市民に開かれたわかりやすい議会』を目指す取組みの一環として、多くの市民に市議会へお越しいただくきっかけになるよう、学校法人桐朋学園の協力を得て開催。

会派の幹事長が参加する幹事長会議にて、平成27年にご逝去された調布市名誉市民・水木しげる氏の命日である11月30日を『ゲゲゲ忌』とし、1周忌である平成28年11月30日に初めての議場コンサートの開催を決定。

毎年第4回定例会初日の開会前に実施。通常は9:10から開会だが、コンサート実施日は9:10コンサート実施、10:00開会。

木管五重奏や金管五重奏、マリimba二重奏など、相互友好協定を締結している桐朋学園と連携して開催。

令和5年度決算額は、演奏者へ1万円×2名、大学関係者へ1万円×2名、楽器運搬費（マリimba運搬のための車両使用費）2万円、計6万円を議長交際費として支出。その他、著作権使用料1,100円、手話通訳士派遣料7,000円。（令和5年から、曲紹介などに手話通訳士の対応を用意）

セキュリティについては、議会傍聴受付と同様の対応。帽子やコート等の着脱、傘など鋭利な物や大きい物の持ち込み禁止、携帯電話の電源を切ることなどを依頼。

周知は、市議会だよりや市報、市ホームページ、ちらし掲示など。選曲や編曲の都合により、ちらし完成がギリギリになっているのが課題。傍聴席50席あるが、来場者は20～30名で固定されがち。来場者を増やすためにも周知方法や開催形式が課題。

ロビーコンサートもいいのですが、議会を身近に感じていただく取組みの1つとして、議場コンサートという手法もいいのではないかと思います。これまでロビーコンサートに出演されていた方や市民団体は議場での演奏も可能かと思えます。また、市内小中高校生や市民の日頃の活動を発表する場を増やしてあげることもモチベーションアップにつながり、必要かと思えます。 報告者 阿部裕美子、山本由美子

## 公明党会派 行政視察報告

- 【視察日時】 令和5年7月3日（水）
- 【視察場所】 神奈川県横浜市
- 【視察者】 阿部裕美子、遠藤典子、山本由美子
- 【視察内容】 災害時要援護者支援事業について

災害時には、自力での避難が困難な方の被災が多く見られることから、要援護者が迅速に避難できる支援体制を整えておく必要があります。また、内閣府の避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針のなかで、地域の特性や実情を踏まえつつ、具体的な避難方法等についての個別計画の策定が求められています。横浜市では平成19年(2007年)から、区役所から自主防災組織(町内会など)への要援護者名簿の提供を通じた取り組みを進めています。

災害時要援護者名簿は年2回更新。

災害時要援護者名簿を活用した平時の取り組みとして、自主防災組織と区役所で協定締結を行い、個人情報関係の研修を実施。

平時の要援護者確認方法として、情報共有方式・同意方式・手上げ方式（地域独自）のいずれかを選択。

すべての要援護者の個別避難計画を立てるには時間がかかるので、作成には ①ハザード状況 ②要援護者の心身状況 ③独居等の居住実態により優先順位をつける。

ハザード状況から、令和4年度は大きな河川沿いの2区で風水害を想定しモデル事業実施。5年度は5区、6年度は18区（全区）へ拡大予定。

個別避難計画を作成する際には、必要に応じてケアマネジャーに協力依頼。費用は、国の基準により、1件につき7,000円を事業所に支給。

福祉避難所を利用する方については、災害時には福祉避難所の開設が難しいのでまずは地域の避難所へ向かい、その後、必要に応じて福祉避難所へ向かう体制。石狩も同様で、今後考えるべき課題。

災害時における要援護者の個別避難計画を立てるものの必要性について、支援を受ける側・支援する側の両方に対して、研修会等で学ぶ必要があると感じます。支援される要援護者側にはこの事業の正しい理解をしていただき、平時に使用する名簿登載へ

の理解を促したいものです。支援する側には、災害時、必ずしも共に避難できなくても責任を問われないこと、支援者として登録することによって事前の情報を得て的確でスムーズな支援が期待できること等、多くの方に知っていただきたいと思います。

石狩市では、要援護者の登録には情報共有方式を採用しており、登録に同意しない方は不同意申出書を提出しています。この方式の場合、手紙を見ていない高齢者なども多いため、平時に名簿を利用した際に理解を得られない等のトラブルになりやすいという課題があります。地域により、選択方式にすることも検討が必要かと思っています。

個別避難計画を作成するには大変な労力と時間が必要なため、石狩市においても優先順位をつけ、少しずつ進めていくのが良いと思います。

個別避難計画を作成する際、ケアマネジャーさんの協力を得ることは大切な視点と考えます。国の補助金を活用し、是非進めていくべきと考えます。

今後の一般質問や予算委員会等に活かしていきたいと思います。

報告者 阿部裕美子、山本由美子

## 公明党会派 行政視察報告

【視察日時】 令和6年7月3日（火）

【視察場所】 神奈川県愛川町

【視察者】 阿部裕美子、遠藤典子、山本由美子

【視察内容】 在宅高齢者補聴器購入費助成事業について

聴力機能の低下がある在宅高齢者に対し、補聴器の購入費の一部を助成することにより、高齢者の生きがいづくり、生活支援や社会参加の促進を図ることを目的としている事業。

対象者は、申請年度内に70歳以上になる方。介護予防の観点から、在宅の方に限定。前年度末までの町民税、固定資産税、軽自動車税を完納している方が対象。

助成金額は、購入費の1/2（上限20,000円）。

窓口業務や高齢者総合相談の中でも補聴器購入費助成の声が増加傾向にあった。また、国が平成29年7月に策定した認知症施策推進総合戦略において、加齢性難聴が認知症の危険因子のひとつとして挙げられた。そこで、高齢者福祉事業の観点から、本事業に取り組む必要性を認識。

申請には医師の診断書等の提出は求めず、申請を簡略化。申請期限は購入から半年以内。一度助成を受けたら翌年は助成を受けられない。

実績としては、令和4年度70名、令和5年度77名。75～84歳の方が多い。

両耳タイプで購入する方がほとんどで、購入費は20万円台が最も多い。より高額なタイプを購入する方もいるが、助成金が2万円不足という声はない。後から2万円が返ってくるととても嬉しい気持ちになると喜びの声が多い。

石狩市においても補聴器購入費助成を望む市民は増えています。

難聴により他者とのコミュニケーションが取りづらいつ感じ、閉じこもりがちになることもあります。高齢者の社会参加を促し、認知症を予防するためにも補聴器購入費助成に取り組むべきと考えます。

今後も他の自治体の動向も見つつ、声を上げていきます。

報告者 山本由美子

## 公明党会派 行政視察報告

【視察日時】 令和6年7月4日（木）

【視察場所】 神奈川県厚木市

【視察者】 阿部裕美子、遠藤典子、山本由美子

【視察内容】 未病について（健康寿命の延伸に向けた取組み）

私たちの心身の状態は、ここまでは健康、ここからは病気と明確に区分できるものではなく、健康と病気の間を連続的に変化するものであり、この変化の過程を表す概念を『未病』としている。日常生活において『未病改善』により、心身を健康な状態に近づけていくことが大切。

未病改善のために『食』『運動』『社会参加』という3つの取組みを掲げている。健康的な食生活へ改善すること、日常生活に運動を取り入れ質の良い睡眠をとること、ボランティアや趣味の活動で他者と交流し社会とのつながりを持つこと。

厚木市では、『健康見える化コーナー』『健康度見える化手帳』『運動講座』『脳トレリズム体操』などの取組みを実施。

『健康見える化コーナー』は60～70歳代の利用者が主。無料で体組成が測れること、専門家に説明してもらえること、買い物ついでに測れることが良いとの声がある。

『運動講座』は年間定員300名のところ、400名以上の応募があったが、6割が70歳代。

意識醸成に努めることができたことは良かったが、利用者が60歳代以上に偏っており、若い世代に向けても未病を改善する必要性を発信をしていく必要がある。また今後は、出前での健康測定会をしていきたいとのこと。

私達も『健康見える化コーナー』にて血管年齢、骨健康度、体組成、脳年齢、血圧、握力などをチェックさせていただきました。それぞれ1分ほどの短時間で手軽に健康チェックができ、保健師さんから必要なアドバイスももらえました。

超高齢化社会の今、高齢になっても健康な状態で生活できるよう、あらゆる世代が未病改善に取り組むことは必要不可欠です。健康見える化コーナーは、気軽に楽しく健康チェックでき、今後どのような生活をすべきか考え直すきっかけになります。本市

においても保健福祉センターりんくるに、このような設備を整えるのも効果的ではないかと考えます。

**健康度見える化**  
**未病センターあつさ**

血圧測定・血糖測定・尿酸測定・脂質測定・骨密度測定・歩数測定・体温測定

※1分以内で測定可能

血圧測定 血糖測定 尿酸測定 脂質測定 骨密度測定 歩数測定 体温測定

AからEの5段階評価で結果がわかります。

A B C D E

健康度 92点

気になることがございましたら、お気軽に保健師・管理栄養士へご相談ください。

対象者 市町村在住で20歳以上の方  
 川東市・川口市・葛飾区・大田区・足立区・荒川区

平日 9時～12時、13時～16時  
 場所 保健福祉センター1階  
 徒歩約5分

**7市町村共通**  
**健康度見える化**  
**手帳**

あつさ  
 ごまりん  
 あひびい  
 ヤマトン  
 ちりめん  
 おゆび  
 ちりめん

～健康チェックで、のびそう！健康寿命～

氏名 \_\_\_\_\_ (市・町・村)

手帳利用開始日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

報告者 山本由美子